

平成29年 5 月16日

魚沼市議会議長 浅井守雄様

地域医療対策特別委員会

委員長 佐藤 肇

地域医療対策特別委員会調査報告書

本委員会は、付託事件について下記のとおり調査したので、魚沼市議会会議規則第110条の規定により報告します。

記

- 1 調査事件名 (1) 医療再編等の経過について
(2) 医療再編等の総括について
(3) その他

- 2 調査の経過 5月16日に委員会を開催し、上記案件について調査を行った。
医療再編等の経過等について、執行部から報告を受け、質疑を行った。
その後、第4期議会の地域医療対策特別委員会開催状況等について、総括を行った。

地域医療対策特別委員会会議録

1 付議事件

(1) 医療再編等の経過について

(2) 医療再編等の総括について

(3) その他

2 日 時 平成29年5月16日 午後3時

3 場 所 広神庁舎 3階 301会議室

4 出席委員 富永三千敏、佐藤敏雄、岡部計夫、渡辺一美、佐藤 肇、高野甲子雄、
下村浩延、本田 篤、大屋角政、森山英敏、(浅井守雄議長)

5 説明員 金澤健康課長、星地域医療対策室長

6 書 記 桜井議会事務局長、青柳書記

7 経 過

開 会 (15:00)

佐藤(肇)委員長 定足数に達していますので、ただいまから地域医療対策特別委員会を開会
します。これより議事に入ります。

(1) 医療再編等の経過について

佐藤(肇)委員長 日程第1、医療再編等の経過についてを議題とします。資料が提出されて
いますので、執行部に説明及び報告を求めます。

金澤健康課長 (資料「経過報告」により説明)

佐藤(肇)委員長 ただいまの説明及び報告に対し、質疑はありませんか。

本田委員 今ほどの課長の説明で3月29日に、平成28年度の事業報告ということがありま
したけれど、これは決算ではなくて、どういう事業をやったかという報告のみということ
でしょうか。

金澤健康課長 平成28年度の魚沼基幹病院事業の概要、それから決算見込みについて報告
をしていただきました。決算見込み平成27年度については12億くらい赤字がありました
けれど、それが3億減るかなということで9億程度というふうなことでございます。

本田委員 今後のスケジュールということでもありますけれど、その決算を報告する理事会
は何月くらいですか。

金澤健康課長 5月30日に理事会をする予定です。

渡辺委員 3月29日に新潟県地域医療推進機構臨時評議員会ということなのですが、魚沼圏域としましてはベッド数とか計画からすると、どの程度になっていて今後どうしようかという話が出ているのでしょうか。

金澤健康課長 先ほど読み上げた中に中長期計画見直しをいう部分がありました。当初計画では3年でフル稼働したいということでありましたけれど、職員の採用が育成等に行っている期間が必要ということで、いわゆる長期計画見直し案を作成して次回の理事会、評議員会に示したいとしています。今308プラス20で11月から運営をしておりますが、また冬場のスキー客の骨折等が減りますので、4月からは育成にまた重点を置きたいということで4月から20床削っております。308床ということで昨年の4月と同じ体制であります。ことしも看護師の採用が三十数名あるのですが、その中で新卒採用が27名ほどになりまして、まだまだ養成に時間がかかるという話をしています。

佐藤(肇)委員長 ほかに質疑はありませんか。(なし)経過報告についての質疑を終わります。次に地域医療対策の主な経過について資料が提出されておりますので、このことについて説明を求めます。

金澤健康課長 (資料「地域医療対策の主な経過について」により説明)

佐藤(肇)委員長 ただいまの説明及び報告に対し、質疑はありませんか。

渡辺委員 堀之内医療センターなのですが、医師が決定と書いてありますが、既に着任していらっしゃるのでしょうか。

金澤健康課長 既に整形外科に4月の2週、4週の木曜日に来ていただきました。初日は相当立て込んでいたということで6時近くまでかかったという話を聞いております。

大屋委員 福山へき地出張診療所が廃止になって、そこからバスで守門診療所のほうに行くことについては前の委員会でも出たんですが、今現在、新年度になってからどういうふうな形になっているのか教えてください。

金澤健康課長 バスについては魚沼市医療公社のほうで運行するような形にしておりまして、時間とかそういったものは全部、診療所のほうで管理をしています。それで看護師も気配りをしまして今のところトラブルはないという状況だと聞いています。

大屋委員 それはわかるんですが、週に何回くらいでしょうか。

星地域医療対策室長 閉鎖前の診療日と同じ隔週の木曜日にジャンボタクシーで運行をさせていただいております。

大屋委員 そうすると医療公社がそこも含めて運営しているわけですが市のほうとして、隔週ではなくて週に2、3回にすることはできないのでしょうか。

金澤健康課長 福山につきましてはまちづくり室のほうでやっているタクシー等もありますので、そのほかということは今のところ考えておりません。

大屋委員 やっぱそれは考えていただきたいと思います。福山へき地診療所が廃止になって守門診療所に行って、いい医療機関で受診ができるという話になったわけですので、最低でも隔週じゃなくて週に2、3回というやり方をしてほしいし、医療公社に丸投げで市が何にも言えない、提案できないというようなことがないように今後していただきたいんですが、その点はいかかでしょうか。

金澤健康課長 今ほど言われたことについては公社だから何も言えないということではございませんが、需要がそれだけあるということであれば公社と相談するということであり

ますので、今のところはまだ1カ月少々ではありますが、そういった状況ではないというふうには考えております。

岡部委員 先ほど堀之内医療センターが4月1日からということで整形外科が条例改正のときもあったんですけど、その後すぐ来て開始したということなんですが、ここは小出病院に医師が2名増員になって、そのうちから回しているということなのかどうか教えてください。

金澤健康課長 この整形外科の医師につきましては独自に堀之内病院に来てもらっているということで小出病院から来てもらっているというわけではありません。

岡部委員 堀之内医療センターには内科と整形外科がありますが、内科2名で整形のほう1名ということですが、どのような役割を持っているのでしょうか。

金澤健康課長 堀之内病院は内科のほうは院長を中心にしておりますけれど、院長の日程上の都合もありますので小出病院の2人の医師が週に2回交代で勤務しているところもあります。それから整形外科の医師は東京からこちらに指定された木曜日の午後に隔週で来ているということです。

岡部委員 今2回、4月から来てもらっていて、随分と混んでいるということですが、非常に今、医師の過労に関する話があるわけですね。今後の受診の状況を見てなんですけれど、医師を1名獲得するのも大変なんですけれど、例えば増員とか場合によっては考えるということでしょうか。

金澤健康課長 ことし2名増員ができますが、これ以降もできるだけ医師を確保したいということで頑張っています。当初計画していたのは15名で今11名です。基幹病院からも相当応援していただいて、常勤換算11名強だったんですが、2名増えたということで基幹病院からの応援も若干減ってきたというようなことで、12名ちょっとという常勤換算でやっておりますが、まだもう少し医師の数をふやしていきたいと思っております。

本田委員 関連ということでお聞きしたいのですが、基幹病院の路線バス化の話なんですけど、市のほうに何かしらお話とか、苦情とかもあればお聞かせいただきたいと思えます。

金澤健康課長 3月の末から問い合わせのほうが多数ありました。その中で3月のほうにつきましては、どこでバスに乗ればいいのかというような問い合わせがありまして、苦情めいたものは2、3件あったそうですが、やはり無料だったものが有料になったということと、どこで乗ればいいのかという問い合わせがあったということをお聞きしております。

本田委員 私のところにも1件いただいていて、精神障害の方で通院しなければならなくなったときに今まで無料だったのが有料になってしまうということで、今仕事もできていない状況で手帳をもらうほどの症状でもない初期の急性期の方だと思うんですけど、そういう方に対してやっぱりバスを運行してみると、その辺を救えなかったのかなと考えます。今後の様子見ということになるかと思うのですが、きょうこういったことがあったことも踏まえて今後しんしゃくしていただければと思います。

金澤健康課長 精神のほうにつきましては精神の家族会の会長とも話をさせていただいて、その中でデイケア施設が小出病院のほうはありましたが、基幹病院にも部屋があるそうです。患者さんが診察を受けるのは月に1回程度でいいですけど、デイケアを使っている人たちがいるので、そうすると月1回ではなく週1回とか週2回とかの話になるので、

交通費もかかる。そうした場合に今後は福祉のほうの要望としてそういうのを挙げていきたいというような話を会長からはいただいています。

渡辺委員　基幹病院へのバス路線関連なんですけれど、私も住民の方からの声で担当者のほうに少しお話しさせていただいたんですが、やはり路線バスになって乗り降りが非常に厳しいということです。基幹病院に行くということは、やはり重度のある程度通院しなくては行けないということがあるので、その乗り降りのところが急で大変だということで、それについては今のところローステップバスでしょうかね。徐々に変えていくのでという説明ではありました。相手が民間のバス会社ですので、できるだけそういうふうにしてほしいと思い、せめてステップの台ぐらい出してくださいという話しをしましたら、法律があって、運転手が動くことができないので、それもできませんということでした。例えばこれは提案というか、考え方としてできるかどうかなんですけど、基幹病院専用というか行きのバスですので例えばボランティア的に介助ができるような人ですとか、そういう人が乗ったりして、お手伝いできないでしょうかというような回答を持っていったときにその方のほうで私たちはそういうのがないと、結局タクシーに乗らなくてはならない。あるいはその親戚の人に頼んで、連れて行ってもらわなければならないけれど、バスがあれば、自分で何とか自力で杖をついてでも行こうと思うんだけど、やっぱり乗り降りがおっかなくて、たまたまいいバスに当たればいいけれど、そうでないので介助者なんかはどうでしょうかというお話だったんですが、そのあたりいかがでしょうか。

金澤健康課長　やっぱりバス会社のほうも、これから順次ローステップバスということで低い床のものを発注したいというような気持ちにはなっていないんですが、今現在できないということで、あのバスは基幹病院専用ということではなくて、浦佐駅まで行くバスということです。途中で基幹病院に寄るといいますのでなかなか介助員を乗せてというのは今のところできないのかなという気がします。

渡辺委員　それについては了承して、今後の検討課題にあげられるかどうか検討したいのですが、今度は小出地域の方は路線バスがあるんですけど、堀之内から直接ですとか、また堀之内ではなく、一旦小出に出てきた人が行く場合はちょっと不便になったというふうに私のほうには聞こえてくるんですが、そのようなことは健康課長のほうではどうでしょうか。

金澤健康課長　入広瀬方面から出てこられる方については、今までとあまり変わらないような形でというふうに検討したつもりでありますし、今現在で私のところにそういった話がちょっとないのですが、これからまた1カ月経過したことでするので、また様子を聞いてみたりした中で検討させていただきたいと思います。堀之内についても堀之内駅から電車がございまして、北堀之内駅からも乗れますけれど、そうすると浦佐の駅ということですが、浦佐の駅からは南魚沼市が出している無料のバスが行っています。そういった関係とバスであれば小出駅まで来ていただければ、小出駅にちょうど連絡するような形になっているかどうか確認していないんですが、そういうこともできるというふうに聞いておりますのでその辺は今の状況をもう少し精査をしてやっていきたいと思います。

渡辺委員　堀之内病院がなくなったこともあって、小出病院に直接来るにしても、基幹病院のほうは紹介状がなければ行けないわけなんですけれど、今ほど言ったその堀之内の場合は電車を利用しながら行ったほうがかえって負担も軽かったりというところを、やっぱり

周知できるような形で皆さんに広報していただけるといいのではないかと思いますし、堀之内のバス路線とか、電車に乗り継げるようなシステムはどんなふうになっていますか。
金澤健康課長 細かく私が把握してなくて申しわけございませんが、後日調べてご報告します。

佐藤(肇)委員長 ほかにありませんか。(なし) 日程第1、医療再編等の経過については以上とします。

(2) 医療再編等の総括について

佐藤(肇)委員長 日程第2、医療再編等の総括についてを議題とします。当委員会は魚沼市の抱えていた地域医療の諸問題について調査をするため平成25年7月29日に発議により設置された特別委員会であります。実質的な委員会は本日が最終日となります。ついては、これまでの委員会開催の経過について別紙のように資料をまとめました。これについて説明をいただいた上でご意見をいただき総括をさせていただきたいと考えております。それでは資料について事務局長のほうから説明及び報告を求めます。

櫻井議会事務局長 それではお手元に配布の地域医療対策特別委員会開催状況一覧をご覧くださいと思います。今第4期議会になりますが、まとめて報告させていただきます。(資料「地域医療対策特別委員会開催状況一覧」により説明)

佐藤(肇)委員長 これまでの委員会開催の経過について以上のように概要をお示しさせていただきました。これにつきまして委員各位からこの委員会の設置の当初の目的に立ち返っていただきこの委員会がどうだったのか、積み残してきたものは何かというようなことで、これからいろいろ意見を出していただければというふうに思っております。

森山委員 基幹病院の開院から小出病院の県からの移管ということで非常に大きな不安があったわけですが、一部病院のバスとか問題はありましたが関係者各位の努力によってそれほど大きな問題もなかったように捉えております。ただ医療スタッフの不足ということで基幹病院も含め堀之内病院もそういうことで療養病棟ができなくなったということについては、やはり少し行政として議会として、もう少し何らかの取り組みをして、そうならない努力をすべきではなかったかなというような反省をしております。その辺についてようやく市も少しずつ動き出したということで小出高校の医療コース、また卒業生がそちらの方向に進学するという話も聞いておりますので、もうしばらくすると少しは改善できるのかなと思っているんですが、何分、基幹病院の場合は大幅な病棟がまだ稼動していないということですので、その辺の対策を議会としてももう少し取り組む必要がある。これからも取り組んでいかなければならないというふうな感じを受けています。

本田委員 この地域医療という話は十数年来、言ってきたわけでありますが、この医療再編というものの出だしは何だったのか、きっかけは何だったのかなということを考えますと当時研修医制度ですか、白い巨塔と呼ばれた医局制度から研修医というふうに病院と申しますか、医療現場中心の制度に移行してきた。それと高度医療の充実に関係して医療再編が、機能分担ができた。その1つは医療費の抑制という国家的な課題、この3点セットが同時に来たのかなというふうに思っております。そういった意味ではこの医療再編というのは我々住民にとってはないに越したことはなかったのかもしれませんが、やはりそう

いった時代的背景を考えると、これは通るべき課題だったのかなと思っております。そしてその医療再編の中でそれぞれ機能分担をして、基幹病院は基幹病院なりの、小出病院は小出病院なりの医療としての役割を果たせるようになったということは、これは市民にとってもメリットは大きかったのではないかと考えております。今後なんですが、やはり地道な取り組みも必要かと考えております。特に地域医療のパイオニアとして小出病院が今現在も全国から大分注目を浴びているようではありますけれども、やはり持続性ということが大事ですので、そこは病院の医療スタッフばかりでなく、市の住民も議会も引き続きサポートしていくことが重要だと思っています。最後ですけれども、この委員会も当初の役割は果たせたのかなと思っています。そういった意味では次回改選後というのは所管を常任委員会のほうに戻してもいいのかなと私は思います。またその中で福祉と医療をコラボさせた中での議論というのもできると思いますので、そうなったらいいのかなというふうに思っています。

渡辺委員　本田委員のほうからこれまでの政治的な背景ですとか、人口動態の背景ですとかいろんなことを言っていましたので、今後の課題としてはやはり医療と介護の一体というかの課題が一番大きいと。やはり人口構成が変わって高齢者がこれから爆発的に多くなるということにつきましては、これまでの医療中心のキュアといいますか、治すことからどうケアしていくかという形にならざるを得ないというふうに思っています。その中でやはり中心になってご苦労いただかなければいけないのは医師ではあるんですが、そこをどう支えていくか。福祉の現場ですとか、介護の現場、市役所の役割も非常に大きいなという気はしています。そういった意味で本田委員が言ったようにこの次の改選後は一体となって考えられるようになっていくことが今後は望ましいというふうに思いますし、この4年間の医療再編の中での特別委員会の役割は非常に大きかったのではなかったかと思っていますので、特別委員会としてやってきてよかったと私は感じているところです。

岡部委員　今までやってきた中で、今の課題は看護師不足、医師不足というような形でやっているんですけど、その中の議論でやはり、トップ外交的な形で市長等が医師の確保に一生懸命でなかったというような声をよく聞きます。トップが一生懸命にやったり、あるいは議会ももう少し県のほうとかそういうところに行って陳情したりすればもっと医師が来たのかということは疑問なんですけれども、議会としてもただその行く末だけを見てきたような気がします。やっぱり専門分野だからなかなかそこに我々も入っていけないところもあったりして、議会活動として不足していたのかなというふうに感じています。今後の中ではやはり、医師の確保、医療従事者の確保をどうするかという仕組みもしっかりと行政と一緒にあって、継続的にこれが維持していけるような体制をどうつくっていくかというのは課題だと思っています。医療に携わる人脈を大事にしながら、どういう系列でこの小出の病院はやっていくとか、基幹病院はやっていくとか、そのラインに乗ってその中で努力していくことが大事かなという気がしますので、そういう道筋が少しでもできたところが今回よかったのかなという気がします。その辺をこれからどういうふうな人脈を生かして医療スタッフを確保してやっていくかということが最大の課題だと思いますので、そういうことに今後は取り組んでもらいたいなと思います。

富永委員　今ほど何人かの委員の方が言われたとおりでございますし、一番は医療スタッフが足りないということですので、これをどうするかというのは今ほどの岡部委員の言った

とおり、また小出高校の医療専攻のほうをもう少し充実させるとか、そういったものも必要ですし、その病院に通院する患者さんの足ですよね、その地域交通をつくり直していくかという、その辺はやはり大事なことですし、こういった形の委員会であるのか先ほど皆さん提案の常任委員会の中に入れてという形は別にしても非常に議論すべき、また検討すべき課題だと思います。

高野委員 医療再編の関係で県立病院が基幹病院にという部分から、さらに魚沼市の関係については一般市民も含め、非常に関心が高くて、それが基幹病院から新小出病院をどうするかということになったんだろうというふうに思います。その中で医師等の確保の修学資金、そして行政も含めてこの医療スタッフをどう確保するかということには、かなり力を入れていたと私は評価をしています。それが約10年かかって小出のほうに残すとか、少し目に見える形で成果が出てきているのではないかとというふうに評価をしていますので、この辺、行政も議会もしっかり今までの経過なり、今の成果なりを踏まえて、ぜひこの地域医療についてはさら地域住民も含めて取り組んでいく必要があるのではないかと考えております。成果が出てきているので、さらに努力していければと考えております。

大屋委員 1つは堀之内病院が50床を削減された。魚沼市が県立病院だったのが、350床だと思うのですが、これが134床というふうな形になって、全体の三十数パーセント、医療機能が削減された。これは魚沼市にとっては非常に大きい問題だと思います。南のほうに集中したというような形がありまして、やはりこれは人口とかそういったものもあるんでしょうが、やっぱりその大きな原因が、医師、看護師の不足からきているということですから、そこをやっぱり重点的に力を入れながら今のものを維持するのではなくてさらに充実させていくという形が大切だと思います。そして患者さんの足の確保ですが、どちらかというとお年寄りが多いものですから、そういう方が入広瀬、守門方面から基幹病院に行くとなると、往復で数千円かかります。この状況をどうやったら福祉の面から解消していくのか、そういったことも課題だと私は思います。医師、看護師の確保を十分にしたいうえで、医療器具を拡充していくというのと、患者さんの足の確保、この2つの件をやっぱり今後は検討し充実した方向へ持っていくというふうにしていただきたいと思います。

浅井議長 今ほど総括いただきましたが、4年間御苦労さまでした。地域医療ということは、市民、住民に一番身近な、最も大事なところのセクションだと思っていますし、それで皆さん方から精力的に現地の調査、並びに付託事件の審査等を含めて活動いただきましたことに対して、心から敬意と感謝を申し上げさせていただきます。医療スタッフの確保ですが、もう1つ付け加えると、この中越地区に4年生の大学という話もありまして、皆さん全員のほうから署名をいただき、要望書を出させていただいた経緯がございます。これが機能すると、例えば小出高校の医療コースの特別枠といいますか、そうしたことも今後も視野に入れながら、医療スタッフの確保等、地道に進める基盤ができるというようなことであります。引き続き5期目の議会の中でもそうした医療スタッフの確保等を含めて、地道に進めていただきたいと思いますし、市民もこの地域医療再編に大きな期待をされていると思いますので皆様方の奮起、健闘をお願いしたいと思い、議会を代表しまして敬意と感謝を申し上げます。ありがとうございました。

高野委員 先ほど言い残したのですが、地域医療学校、その存在を地域医療を市民全体で考える、それから行政も議会も考えるという中での本当に大きな取り組みになったのではな

いかと思い、その取り組みについて私は非常に評価をしています。

森山委員 先ほど総括の中でも触れたんですが、医療スタッフの確保というのが私はやはり喫緊の課題だと思っております。魚沼市は豪雪地で冬季の通勤が非常に難儀をするというような状況ですし、生活にも大変だということで、そういったいわゆるマイナス面というのが私はあると思うんですよ。この魚沼市、小出病院もそうだし、基幹病院に勤める選択をする場合にそういったいわゆる障害的な部分がどうしても二の足を踏んでしまうようなところがあると思います。これについては行政のほうで何ができるかといったときに、優遇策と言いますか、例えば魚沼市の神湯温泉であろうが、ゆーぱーく薬師であろうが、1年間の無料パス券をやるとか、スキー場もそうです。そういった市の関連施設についてはそういった優遇策をお示しして募集するとか、そういった配慮は行政としてはもう少し力を入れて検討していただきたいなというのを感じました。

岡部委員 医療スタッフの確保の中で、先ほど、小出病院の医療専攻科というのがありますが、小出高校自体に通学している生徒で地元出身が何人いるのか。結構いろんな広範囲なところから通学している人が多いわけですよ。その中で、専門学校とかあるいは北里とか、新しくできた4年生の看護大学とか、どういう人が行くかということをチェックして、最終的に地元で必要なスタッフを確保していかなければだめな気がします。条件がよければ県外とかに出てしまう人が多いので、教育の段階で優遇策を含めて、何らかの形で計画的に人材を確保していくようなことがないと、なかなか確保できないような気がします。今の奨学金制度はあちこちから出て、15万くらいまでの負担がありますけれど、本当にそういう部分で医療に携わるような、掘り起こしという部分も大事ですし、そういうふうな援助とか、確保してからの優遇策みたいなことも絡めて、トータル的にやらないと難しい。その辺、ちょっと執行部のほうからもしっかり考えてプランづくりをしてもらいたいと思います。

渡辺委員 地域医療の再編ということでは、ハード面では一定の成果を残すことができたというふうに思っております。ただ先ほど、皆様のほうからスタッフの確保ができなくて基幹病院等についてはまだフル稼働ができないという点、そしてまた魚沼市としては病院のベッド数として従来確保すべきだったベッド数を確保できなかったということなんですけれど、これから医療中心から介護中心になっていくと考えるならば、医療のベッド数ではなく介護のほうのベッド数というか室数というんですか。そちらのほうで対応していくというふうに変ってくるのではないかということも考えられると思っております。そんなことで先ほど特別委員会の役割は一定程度大きな役割を果たし、医療再編について議会として成果を出したと思っております。次の議会に送ることといたしましては、福祉そして各課との連携をしながらキュアからケアへという時代に入りますので、そのあたりがしっかりと連携できるような形で取り組んでいただければと思います。

佐藤(肇)委員長 今ほど出された意見をまとめて総括ということで私のほうで少しまとめさせていただきます。この日程第2の総括にしたいと思います。しばらくの間、休憩いたします。

休 憩 (16:00)

再 開 (16 : 10)

佐藤(肇)委員長 休憩を解き会議を再開します。日程第2の総括ということで私のほうでまとめてみました。読み上げますのでこれについてご意見をいただきたいと思います。魚沼市を取り巻く地域医療につきましては、これまでの魚沼地域の医療再編により大きくその姿を変えました。高度先進医療を担う魚沼基幹病院が整備された一方、県立小出病院を市立とし、平成27年6月住民に身近な医療を担う魚沼市立小出病院がスタートしました。また、運営母体の魚沼市医療公社を設立し、公設民営の形で現在3年目に入っております。病院設備も外構工事を残すのみとなり、年内にはほぼ工事を終えると聞いております。魚沼市医療公社には、小出病院のほか市内の市立診療所の運営を担っていただいております。医療の継続性が一定程度担保されたものと思っております。今後、全国的な課題でもある看護師不足、特に魚沼地域は深刻です。こういった課題解消に向け引き続き取り組んでいかなければなりません。また、魚沼地域の医療再編の基本理念である地域全体で1つの病院、魚沼医療学校また魚沼・米ねっとといった制度の中でその一躍を担う小出病院として、魚沼基幹病院、また、地域診療所、介護施設等と連携し、今後人口減、高齢者増など、医療を取り巻く環境がかわっても、市民が安心して医療を受けられる体制の強化に取り組んでいっていただきたいと考えております。また地域交通を考える中で、患者の送迎、患者通院の足の確保、また今後予定をされております4年生大学の設置等において、地域医療人材の確保が図っていけるよう、また市が独自に取り組んでいる、医師等修学資金制度等の活用も含め、人材確保に特段の取り組みをお願いしたいと考えております。以上、委員会としての総括をさせていただきたいと考えますが、ほかにご意見等ございましたら発言をお願いいたします。しばらくの間、休憩といたします。

休 憩 (16 : 13)

休憩中に懇談的に意見交換

再 開 (16 : 14)

佐藤(肇)委員長 休憩を解き会議を再開します。ほかにありますか。(なし) 日程第2、医療再編等の総括については以上とします。

(3) その他

佐藤(肇)委員長 日程第3、その他を議題とします。しばらくの間、休憩といたします。

休 憩 (16 : 15)

休憩中に懇談的に意見交換

再 開 (16 : 17)

佐藤(肇)委員長 休憩を解き会議を再開します。星地域医療対策室長、本委員会に対して今後の取り組み等、何かございましたらお願いします。

星地域医療対策室長 なかなかご挨拶する機会がございましたので、この4月より地域医療対策室長ということで、勤務させていただいております。3月末まで1年間でありましたが小出病院で事務課長ということで行っておりまして1年間小出病院の様子を見させていただいて、また一緒に布施先生はじめ庭山理事長と一緒に小出病院の任務に携わってまいりました。立場はかわりますが、また市のほうに戻りまして引き続き地域医療に携わることになりましたので、この委員会としては最後ではございますが引き続きよろしくお願いたします。

佐藤(肇)委員長 ほかに協議事項等はありませんか。(なし)以上で、日程第3、その他を終わります。この4年間、私が委員長をさせていただきました。その間、皆さまから助けていただきありがとうございました。先ほど総括の中にもありましたが一定の方向は見えたといい中で、まだまだ地域の課題がたくさんございます。次期の議会、議員のほうに引き継いでいっていただいて、またその辺についてもいろいろ進めていっていただくよう希望しています。大変長い間ありがとうございました。本日の会議録の調製については、委員長に一任願います。本日の地域医療対策特別委員会はこれで閉会します。

閉 会 (16 : 19)